



日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2011.6.30 No.29

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://www.jcp-yamada.jp/>

## 区議会第2回定例会が終わりました!

### 放射能・災害への対策 定例会の争点に

六月二十八日(火)、第2回定例会(6月区議会)が終了しました。

今期の区議会では、東日本大震災の発生により、災害への対策、被災地支援、区内被災者の救済制度拡充、放射能の検査体制の確立などが大きな争点となりました。

日本共産党杉並区議団は、本会議での一般質問と、関係する全ての委員会で質疑を行い、これらの問題を取り上げました。

震災以降に行なった複数の申し入れや、住民の切実な要望を行政に伝えてきた結果、区内放射線量の測定が一部決定するなど、前向きな動きも見られます。今後も、住民の要求実現のために全力で取り組みます。

### 最終日、本会議にて 請願・陳情の審査を求める

日本共産党杉並区議団を代表し、最終日の本会議にて意見を述べました。

この間、杉並区の請願・陳情の審査率(37%)の低さが大きな問題となっています。他区に比べても、大きく遅れている状況です。請願・陳情は、住民が行政に直接要望を申し出ることのできる大切な権利であり、阻害することがあってならないものです。

区民の切実な要望を受け止め、速やかな審議がされるよう、引き続き求めていきます。

## 杉並区内放射線量の測定について

### ○区内測定ポイント

対象	測定ポイント	所在地
プール水 5個所	富士見丘小学校	上高井戸 2-1 6-1 3
	新泉小学校	和泉 1-4 4-2 6
	八成小学校	井草 2-2 5-4
	高円寺中学校	高円寺北 1-4-1 1
	和田堀公園プール	大宮 2-2-1 0
土壌 4個所	桃井第五小学校	下井草 4-2 2-4
	久我山小学校	久我山 5-1 8-7
	松ノ木中学校	松ノ木 1-4-1
	高円寺東保育園	高円寺南 1-2 8-4
砂場の砂 4個所	妙正寺公園	清水 3-2 1-2 1
	塚山公園	下高井戸 5-2 3-1 2
	荻窪南保育園	荻窪 1-1-6
	松ノ木保育園	松ノ木 2-3 3-6

### ○実施方法

- 測定場所は区内の東西南北から4点抽出
- ※ 大気は測定機器2台を購入して測定。それまでは土壌と並行して測定(委託)
- 測定方法等
  - プール水 6月～9月の4カ月間。月一回。
  - 土壌 6月に調査。空間線量率も測定。空間線量は、地表から1m・50cm・1cm高で行う。
  - 砂場 土壌調査と同じ
  - 大気 機器の納入(10月頃)後、職員により測定。はじめに区内の広範な地域で測定し、測定結果により、今後の測定方法を検討
- 進め方 測定結果は外部の専門家による評価を行う

# 再び被災地救援に行ってきます！

## 区内から続々と寄せられる救援物資 2トトラックで輸送します

七月四日（月）から、再び被災地救援ボランティアに参加してきます。前回訪問した宮城県石巻市に入ります。

現在、杉並区内の全域から救援物資が寄せられており、2トトラックが満載になる状況です。赤ちゃん用の粉ミルク、おむつ、下着、夏物衣料、蚊取り線香、洗剤、食料など、たくさんのお物資が寄せられました。みなさんのご協力、本当にありがとうございます。救援物資は責任を持って、現地に届けてきます。



種類ごとに仕分けしています

## 救援募金も

被災地救援募金も寄せられています。

これまで何度も被災地救援募金をされている方々から、「義援金の分配が遅れている。この募金は、現地にすみやかに届けてください」という声とともに、募金が託されています。

被災地で私財を擲って、救援活動を続ける党機関への支援募金も寄せられています。

みなさんの思いを、しっかりと現地に届けてきます。

## 今週の一こま

### 子どもが中耳炎、飛び火に 病院通いの日々です

息子も、あと2カ月で一歳。保育園に通い始め、母親から受け継いだ免疫も切れ始めたのか、風邪、中耳炎、飛び火になり、病院通いの日々です。

議会中は、妻に相当な負担をかけたので、議会終了後は、病院に連れていくのは私の役目になりそうです。写真は、東の間の休息時。



歯が生えてかゆいため、何でもかじります。最近のお気に入りには、私の携帯……。涎でベトベトです。防水携帯に換えようかな

## 外環の2話し合いの会・準備会 住民不参加の議事運営

## 会議冒頭、傍聴者を45分間締め出し

六月二十九日（水）外環の2話し合いの会・準備会が行われました。話し合いの会の参加者募集が少ないため、多くの住民が会には入れず、傍聴のみの参加者が多くなっています。

最初に行われた「運営」に関する会議では、傍聴を想定していないとして、大勢の傍聴者を45分間も会場から締め出すという、住民を軽視した議事運営が行われました。

結局、最終的には傍聴者を受け入れましたが、資料も配布されない状況でした。

この間の道路交通対策特別委員会では、「住民の参加を保障する」という区答弁がされたのにも関わらず、こうした事態が発生していることは問題です。

次回の「外環の2話し合いの会」は、

7月下旬頃に予定されています。

※告知チラシの配布などがされないため、このニュース上等でお知らせします。